

城山南壁クライミング報告

【日時】 2017年5月24日(水)

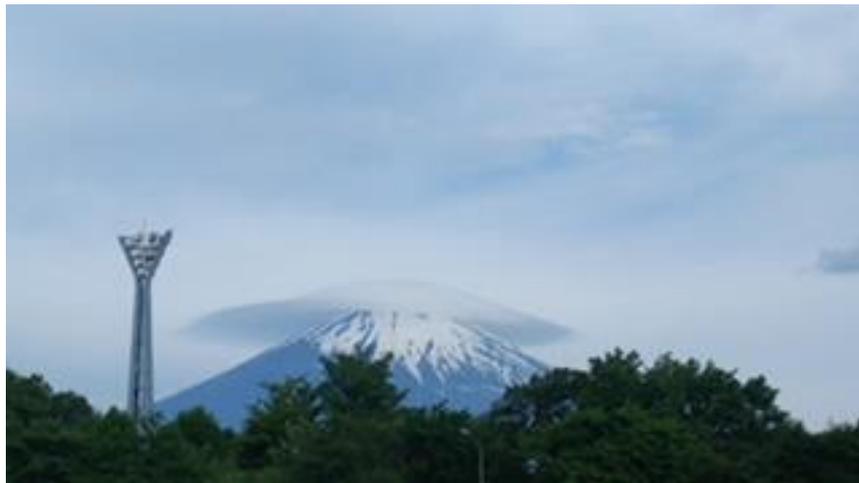
【天気】 曇り

【場所】 伊豆 城山

【メンバー】 CL 平野・内堀・萱野・宮城・山本

アルパイン講習第3回は、前回のリベンジに再び城山・南西カンテを訪れた。

船橋・宮城邸集合5時半。天気予報は夕方崩れる予報だったがひとまず持ちこたえそう
だ。富士山に寄生するようにかかる笠雲が不気味。



5月8日(月)に行なった、稲毛陸橋でのシステム練習の成果を発揮できるか、

登り始めは毎回緊張する。今回のペアは、CL・内堀・山本の3人と萱野・宮城2にペアとなった。



稲毛陸橋での練習風景



1P目/5.7、CLリードでスタート。2本のロープの末端を山本・内堀それぞれのハーネスに8の字で結び、フォローは1人ずつ登った。(リードを交代しながら登る場合はカラビナでハーネスに連結する)

2P目/5.7、内堀氏リード。高度感のある直上ルートに「こわいなあ・・・」の言葉がもれる。

3P目/5.7、山本リード。2間バンドへの右トラバースが支点が少なくこわかった。

2間バンドにて、後続の萱野・宮城ペアを待つ。狩野川の展望が気持ちよかった。





さて、ここで11時半になり、お腹もすいてきたということで、南西カンテはここで終了。懸垂下降で戻りお昼休憩とした。内堀氏・宮城氏はTシャツとクライミングシューズがおそろいです。



午後はそれぞれペアで別行動とし、萱野・宮城ペアは南西カンテで落としたスリングを回収しにもう一度同じルートへ行き、CL・内堀・山本グループは正面壁スポーツルートのジプシーマリー(5.10a)、バトルランナー(4 P/5.10 b)の核心の手前までとした。

自分のクライミング力の無さに愕然としたが、前回よりもかなり成長が実感できた。

内堀氏と共に弱音を吐きつつも、頑張って登りきった後に残った充実感は今までにない感覚で、2人でよかったねと声を掛け合った。

今回も私たちの登りを優しく厳しく見守ってくださった平野 CLに感謝いたします。

ありがとうございました。